



議会 だより

千早赤阪
ちはやあかさか

特集：文教建設・総務民生
常任委員会 質疑

徳丸 初美 議員

- ・若者や子育て世帯の応援は進んだのか
- ・「合併」はどう考えているのか
- ・安全に不安がある万博への子ども招待に反対を

藤浦 稔 議員

- ・人事管理（退職者施策）について
- ・地域公共交通の現状と今後の課題について

服部 幸令 議員

- ・タクシー券の利用拡充を
- ・災害時の受援計画策定は

一般質問

田村 陽 議員

- ・村長と千早銘木の関係は
- ・桐山地区での千早銘木の土地仲介事業について

井上 浩一 議員

- ・村内の道路環境整備を
- ・水路の整備や維持管理について
- ・村役場にコンシェルジュを

vol. **149**
Aug 2024
6月定例会

6月定例会 議決結果

○全会一致で可決・承認された案件

議 案 名	主 な 内 容
専決処分（千早赤阪村税条例の一部を改正する条例）の承認を求めることについて	災害時に職権による減免を可能とする規定の追加、個人住民税の特別税額控除に係る規定の新設等
専決処分（千早赤阪村税特別措置条例の一部を改正する条例）の承認を求めることについて	減収補填制度を規定している省令のうち、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法及び地域再生法に関するものについて、特別措置の期限が令和6年3月31日からそれぞれ延長されたことによる所要の改正
専決処分（令和6年度千早赤阪村一般会計補正予算（第2号））の承認を求めることについて	職員の退職に伴う退職手当の増
千早赤阪村税特別措置条例の改正について	減税の対象となる減価償却資産に、特定業務児童福祉施設のうち当該特定業務施設の新設に併せて整備されるものを加えるための改正
令和6年度千早赤阪村一般会計補正予算（第3号）	物価高騰対応重点支援地方交付金を活用した、低所得者世帯支援事業及び定額減税補足給付金（調整給付）の実施にかかる費用の増等
令和6年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	マイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴う周知用のチラシ作成費用及び電算システム変更にかかる増
令和6年度千早赤阪村介護保険特別会計補正予算（第2号）	人事異動による増
令和5年度千早赤阪村予算繰越明許費繰越計算書について	庁舎周辺敷地境界測量業務等の繰越
核兵器禁止条約第3回締約国会議にオブザーバー参加を求める意見書について	詳細は下記を参照
聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書について	詳細は下記を参照

可決された意見書

○核兵器禁止条約第3回締約国会議にオブザーバー参加を求める意見書について

唯一の戦争被爆国である日本政府及び国会に対して、核兵器禁止条約に署名・批准するまでの間、オブザーバーとして締約国会議に参加することを求める。

○聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書について

我が国の更なる高齢化の進展を踏まえて、認知症の予防と共に、高齢者の積極的な社会参画を実現するために、聴覚補助機器等の積極的な活用を促進する取り組みを強く求める。

議長コラム



村議会議長

千福 清英

6月30日に村長選挙及び村議補欠選挙が執行された。

村長選には3名、補欠選挙には2名が立候補され、とくに村長候補はそれぞれ舌戦が交わされた。

村は少子高齢化のなか、様々な課題が山積している。人口減少、子育て教育の充実、福祉や医療、農林業の一次産業から六次産業へ向けての取組み活性化、行財政改革、減災防災対策、公共交通の利便性、またますます増加している空き家対策など挙げればきりが無いほどである。

選ばれた村長には、村民がなにを期待しているか、なにを求めているかを感じ取り進めていただきたい。その手腕に期待したい。

また、村議補欠選挙の当選者には、二元代表制においては「行政」と「議会」がお互いに対等の立場にあることを認識していただき、議論を重ね、村の発展に取組まれることを望む。

新議員のご挨拶

7月1日付けで村議会議員に就任いたしました、吉田昭之と申します。

村民の皆様におかれましては、益々のご健勝のこととお喜び申し上げます。

先に行われました、6月30日執行の村議会議員補欠選挙におきまして皆様方のご厚情を賜りました。村民の皆様方からのたくさんのご支援に改めて責任の重さを感じているところでございます。村民の皆様と真摯に向き合い届けられたお声を村政に届けたいと思っております。

「住んでよかった村づくり」「身近なことからコツコツと！」

肝に銘じて全力で頑張つてまいります。



吉田 昭之 議員

今月の表紙



森屋

建石 英汰 (えいた) 2歳10ヵ月

建石 明依 (めい) 5ヵ月

父 和哉

母 葉音

いつもニコニコ元気いっぱいありがとう！
すくすく大きくなってね♪

表紙写真 大募集!!

議会だより「ちはやあかさか」の表紙を飾っていただけるお子様の写真を募集しています。

【募集内容】

0歳から小学生程度のお子様の写真（複数人でもかまいません）

【応募方法】

写真掲載ご希望の方は千早赤阪村議会事務局までお電話または村ホームページ（村議会）にてご連絡ください。

議会事務局 TEL 0721-26-7168

常任委員会質疑

文教建設

●一般会計補正予算第3号（文教建設）

問 奉建塔にある展望台等を撤去ということだが、全体像はどのようになるのか。

答 展望台、その下のあずまや等の施設が老朽化しているので撤去し、景観上、樹木も伐採する工事になる。

問 あずまやというのは階段を上っていった左側にある部分なのか。

答 階段を上った左側のあずまやは、老朽化していないので残す。遊歩道下側にあずまやがもう一基あり、こちらを撤去する。

問 更地の状態になるのか、それともベンチ等を置く計画はあるのか。

答 撤去後、新たなベンチ等を置く予定はない。

現状、広場にあずまやとテーブルと椅子が残っているの
で、これで



撤去予定のあずまや

問 対応する。
答 樹木の伐採はどの程度なのか。
奉建塔に上がっていく遊歩道付近の枯れた樹木と、展望台周辺の樹木を伐採する予定である。

問 テニスコートだが、水路関係は富田林市が工事をするのか。

答 水路からテニスコートまでの法面が崩れたことによって土砂がかなり流入した。その分については富田林市の災害復旧事業で対応してもらう。

問 今回、補正予算で計上した分は、法面の崩落に伴うフェンスと小さな倉庫を本村で復旧する工事である。

答 テニスコートの使用再開は、9月再開を見込んでいる。

総務民生

●千早赤阪村税特別措置条例の一部を改正

問 特定業務施設及び特定業務の児童福祉施設とは。

答 今回の条例の一部改正は、事業所の本社機能をそれ以外の地域に移していくことを援助する趣旨になっている。特定業務施設は、その本社機能を有する施設ということになり、法令で3点規定されている。

特定業務児童福祉施設については、一般的に児童福祉施設は幾つかあるが、今回特定の事業所と併せて整備されるということで保育所が想定される。

●一般会計補正予算第3号（総務民生）

問 隣地と庁舎の境に位置する土地の買取り箇所は。

答 庁舎の一段上のほうの駐車場に接する隣地を買い取る。

問 基幹系システムの標準化作業について、国のガバメントクラウドに接続した後、どのように変わるのか。

答 デジタル庁が示す地方行政のデジタル化の推進部分の一環として基幹業務の重複部分が全て全国的に標準化されていく。

問 その前段階の作業としてガバメントクラウドが設定されおり、これにつなぐ作業になっている。

答 ガバメントクラウド接続準備作業に伴うということだが、クラウドに接続するだけで1千611万円かかるということか。

問 委託料の中には接続機器も含まれている。内訳は約67%が作業代となる。

答 大阪関西万博地域連携イベント開催支援事業補助金で50万円あるが、使用目的は、

農林商工課で予定をしている農業フェアの事業に充てる。



田村 陽議員

問

村長と千早銘木の関係は

答

取締役をしている



農道整備予定地

問 前回村長選の前後から株式会社千早銘木という企業名を耳にすることが多くなった。当該企業は村長が社長を務めていたと記憶しているが、現在、村長は当該企業とどのような関係にあるのか。

答 報酬を得て役員等の職に就いている会社、その他の報酬の一つとして株式会社千早銘木がある。

問 どういった役職に就いているのか。

答 取締役をしている。

問 代表取締役から会長になられたと聞いている。会長はしていないということか。

答 代表を代わらせていただいていたと呼ばれていた。今は取締役となっている。

千早銘木の土地仲介事業について

問 株式会社千早銘木が現状、桐山地区において大規模な土地の仲介を行っているという事実はある。

今年度から令和8年度にかけて桐山地区で農道整備事業が予定されているが、当該事業は工事まで含めて当初1カ所当たり1千万円で予算化されていたものが、議会で説明もなく1億円規模の事業として変更されていたものだ。

村長はもともと農道整備に対して否定的な考えであったが、なぜ180度といったよいほど考えが変わったのか疑問であった。

もしその背後に千早銘木の土地仲介が関係しているのであれば、これはゆゆしき問題であると思う。

株式会社千早銘木が桐山地区で土地仲介を行っているという事実はあるのか。

答 桐山地区での農道整備事業費について、1億円規模とは令和6年度の総合計画第3期実施計画が基になっているものと思うが、予算編成、作業などにより事業費は増減するものだ。

桐山地区で農道整備を進めることとなったのは、農業委員会や区長会場の場などで説明を行ったところ、要望があったのが桐山地区からのみであったという結果によるもの。私自身の恣意的な判断が入る余地はなかった。

問 株式会社千早銘木が桐山地区で土地仲介を行っている事実があるのかを聞いている。

答 仲介している。仲介している。



分校跡地に接続する予定

土地の所有者と農道の受益者に重複があるので。は。

答 桐山地区は農業者が多いので含まれて思う。しかし、どなたが含まれてるかは理解していない。

要望 桐山地区で土地の仲介事業を行いながら、同じ桐山地区に村のお金を1億円も投じることに問題は感じなかったのか。

村のお金は村民皆さんのお金だ。村長個人の事業を利する仕方で行われるようなことがあってはならない。



村内の道路環境整備を



適切な維持管理に努める



井上浩一議員

問 村内の公道は維持管理されているが、十分とは思えない。楠公道路と呼ばれる府道は、路面・路側の状態が悪く、度々要望するが改善されない。改善の意思はあるのか。

答 府道は富田土木が管理し、緊急時は村も行う。指摘箇所は少しずつ改善されている、連携し適切な維持管理に努める。

問 自身も道路利用するが、変化を感じない。作業後の報告等は出来ないのか。また、沿道の大きなクスノキ伐採について

答 20 m程度の路側土砂撤去は行われた、クスノ

水路整備や維持管理について

問 過去に質問したが、予想どおり状況は悪化している。災害等の原因にもなっている現状を考えると、対策の進捗状況と取り組みについて本気度を伺う。

答 維持管理体制は変わらず、補助を小規模水路に対応できるようにした。R5年度から管理者情報を調査しており、約半数を把握している。

問 少しだが行動に移している

水路整備や維持管理について

問 以前、村役場庁舎で

答 緊急時の連携は重要、残りの管理者の把握に努める。

問 村での第1次産業の持続発展は重要な環境を守り育てることも重要な課題だ。失敗を恐れずに挑戦をしていくって欲しい。

村役場にコンシェルジュを

問 以前、村役場庁舎で

答 今後、他の自治体の状況、来庁者数等を考慮し村に適した手法を検討していく。

問 窓口業務は一般企業の最前線に相当する重要な部署だ、現状の体制と考え方を伺う。

答 窓口での印象、対応

水路整備や維持管理について

問 以前、村役場庁舎で

答 今後、他の自治体の状況、来庁者数等を考慮し村に適した手法を検討していく。

問 窓口業務は一般企業の最前線に相当する重要な部署だ、現状の体制と考え方を伺う。

答 窓口での印象、対応

掲載記事は、質問した議員の責任において作成したものです。



出典：「軟骨伝導イヤホン」(厚生労働省)



問

若者や子育て世帯の応援は進んだのか

答

住み続けられる村の実現に力を入れる

【問】 令和2年7月に就任後の8月臨時議会での所信表明で、村長は5年先、10年先を見据えた行動をと言っていた。あれから4年がたち、村の若者や



千早赤阪村の自然豊かな景観

子育て世帯の応援は進んだのか。子どもたちの声のある村、活気ある村づくりを行い、いつまでも住み続けられる村の実現ができたと考えているのか、村長の考えを伺う。

【答】 給食費の無償化。通学バスの負担軽減として定期券6500円を4000円に、回数券180円を150円に減額した。子ども医療費の助成は18歳までに拡大。いつまでも住み続けられ

る村の実現に向けて、引き続き村政運営に取り組んでいきたいと考えている。

【問】 日本は教育に大変お金がかかる。高等教育、専門学校、短大、大学、大学院など、目指す学生に村独自の奨学金を出すことをお願いしたいと思うが、村長の答弁をお願いします。

【答】 現時点では少し時間をもらいたい。

【問】 昨年、この村に19人の赤ちゃんが生まれたと聞いている。赤ちゃんが生まれたらおむつ代と限定せずに村から1か月2000円、2年間補助をしてほしい。一人当たり3万円から4万円の予算で可能だ。ほかに先駆けてやることで千早赤阪村は大阪に1つしかない村なのでニュースにもなる。先駆けてやる考えはないのかお聞きする。

【答】 子育ての施策については総合的に考えていき

たいと思う。

【要望】 子どもは国の宝、村の宝である。若者や子育て支援がそこまで厚いのだったら、移り住んでみようと思える村、子どもたちの声が響く村にするために今何よりも先に取り組むべき課題だと考える。

合併をどう考えているのか。

【問】 合併という選択肢は避けて通ることができないという考えに変わりはしないのか伺う。

【答】 合併は大反対。合併前提でなく、住民の皆様と将来の課題を共有することを目的としている。現時点においてもその考えは変わっていない。

【要望】 現時点で合併は考えていないという言葉をお聞きした。住民の意見をしっかりと聞き、最後の最後まで持続可能な村であり続けるために全力

を尽くしてほしいと思う。

安全に不安がある
万博への子どもの
招待に反対

【問】 万博会場建設現場において、工事中にメタンガス爆発事故が発生した。万博会場となる夢洲はもともとごみや汚泥、土砂の処分場であり、かねてから可燃性ガスの発生が指摘されている。このような状況下において招待を見送るべきだと思うが、教育長の考えを伺う。

【答】 大阪府町村教育長会を通じて大阪府教育委員会へ早期に解決すべき問題として緊急要望を行ったところ。

【要望】 こどもの安全・安心のためにも学校行事としての万博参加については中止に向け再度検討していただくことをお願いする。

徳丸初美 議員



人事管理（退職者施策）について



若手職員を中心に賃金アップを図った



藤浦 稔 議員

問 5月号の広報紙に14名の新人職員の顔写真・抱負などが掲載されていた。

14名の職員が入庁してくれたことは、喜ばしいことだが、その反面、正職員88名中、約16%が新人職員ということになるが、住民の方からは、「たくさんさんの新人職員が採用されたが、逆に辞めた職員もこれだけいるのか」「職員数も少ないので、一人当たりの業務量が他団体より多いのではないのか」などの声を聞く。

昨年、12月議会で「人事管理について」同じことを質問した。

村長は、「職員が意欲・能力を発揮でき、やりが

いを持って働き続けることができる環境整備に取り組む」と答弁されたが、具体的にどのような環境整備を図ったか。

また、やる気の出るような人事施策を行っているのか伺う。

答 具体的な環境整備については、まず給料面において近隣自治体より初任給が低い状況にあったことから、見直しを行うとともに、若手職員を中心に賃金アップを図った。

職員数については、職員の負担軽減を図るため、業務量に合った適正な職員数を採用した。

また、主査級への昇任への試験については、これまでの在職8年、かつ32歳以上という基準を撤廃し、受験資格の緩和を行うことで、最短4年早く受験することができるよう、対象者の拡大に努めている。

地域公共交通の現状と今後の課題について

問 金剛バスの事業廃止に伴い4市町村で検討の結果、減便ではあるが、南海バスの協力もあつて、ある程度のバス便数などは確保された。

しかし、日々通勤、通学をしている人達にとつては、減便・乗り継ぎなどで大きな問題があることは事実である。

この様な現状をどのようにに理解されているのか。

また、運転手の確保や乗客の確保などバス運行を続けるうえで、今後想定される問題にどのように対応されていくのか。

答 中学校でバスの乗り換え、駅での電車乗り継ぎは課題の一つである。スムーズな乗り継ぎなどの利便性を図るため、キャッシュレス決済の導入などの検討を開始して

いく。

また乗務員の確保など4市町村が連携して取り組んでいく。

問 バスが減便となったことから、近鉄電車の乗り継ぎに影響するという問題が発生し、事実、若者が通勤に支障をきたし、転出したり、マイカー通勤するなどバス利用者が減少している。

乗務員の確保や村の財政負担も大きいことから簡単に解決できることではないが、再度、村の現

状のバス運行状況をどのようにに理解しているのか

答 一定の通勤・通学の交通手段を確保できたと考えている。

今後、実態にあったバス運行の見直しや利用者のニーズに合った方向性等を検討していく。

要望 バスの問題は、全庁的に取り組むと答弁しているが、未だに都市整備課だけが対応している。全庁的に取り組む必要がある大きな問題である。



金剛ふるさとバス



服部幸令議員

問

タクシー券の利用拡充を

答

事業者の拡充に向け公共交通協議会に諮っていく

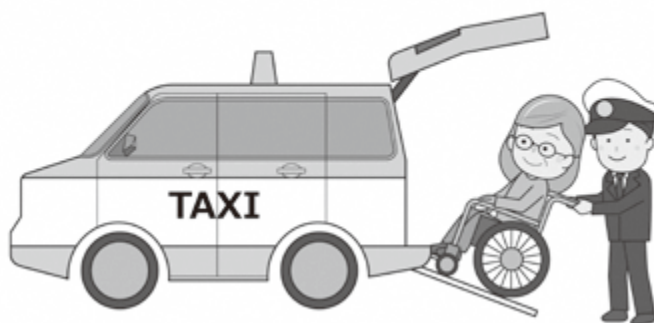
問 住民から公共交通利用助成券、いわゆるタクシー券の配布はありがたいが、介護タクシーも使えたらより便利だとの声がある。介護タクシーに利用拡充することはできないのか伺う。

答 昨年度より村地域公共交通協議会において策定を進めている地域公共交通計画の中でも利用者ニーズに応じた交通サービスの確保を課題の一つとしていることから、まずは介護タクシーの実態調査に向け事業者への聞き取りを実施している。

問 事業者への聞き取りを開始しているとの答弁だったが、事業者はどのような

ような反応をされたのか。

答 ある業者に地域公共交通利用料助成事業の説明を行ったところではあるが、対象とすることについて一定の興味を持っていた。引き続き、事業者との協議を重ね、事業者の拡充に向け今の公共交通協議会に諮っていく。



介護タクシーのイラスト

要望 事業者の拡充は住民の要望でもあり、事業者と利用者の双方にメリットがある。利用拡充に向けて取り組み、少しでも住民の移動手段の選択肢が広がることを願う。

災害時の受援計画策定は

問 1月1日の能登半島地震発生から約半年が経過し様々な検証がなされている。この検証の中で被災地側の受け入れ体制の不備が指摘されている。

本村は大阪府内でも急峻な地域であり、一度地震が発生した場合、土砂災害や道路の寸断などが予想される。迅速な支援を求めるためにも受援計画の策定が不可欠であるが、計画策定の状況は。

答 能登半島地震を受けて様々な課題が取り上げられており、その対策の一つとして受援計画の策定は重要な取組である。

受援計画は大規模な災害が発生した場合、本村のみで膨大な災害対応業務を行うことが困難と想定され、外部からの人的支援や物的支援を円滑に受け入れ、それらを効果

的に活用し早期の復旧を図るための体制や手続などを定めるものである。今年度中の策定を目指し作業を行っている。

問 計画を作成しても、いざというときに機能しないのであれば、意味がない。この点についての対応を伺う。

答 受援計画策定作業の過程で村内各部課に対して、内容等についての意見照会等を行い、同計画の実施に向けた職員研修や訓練等実施する予定である。

要望 災害が起こったとき庁舎に対策センターが設置され、村長をはじめ、危機管理課や他部署の職員も対応される。指揮する人がいなければ右往左往するばかりで受援計画の意味をなさない可能性がある。いざというときに対応できるよう、日頃から職員の訓練などに取り組んでもらいたい。

ぎ か い の 窓

▼千早赤阪村村長選挙・議員補欠選挙



菊井新村長初登庁

6月25日から5日間にわたり、千早赤阪村村長選挙ならびに議会議員選挙（補欠選挙）が行われました。

投票終了時点での投票率は71.17%。前回（令和2年）村長選の投票率からは15%ほど減少しましたが、それでも首長選挙としては府内で最も高い投票率となり、村政に対する有権者の関心の高さが伺われます。

開票の結果、元役場職員の菊井よしひろ氏（60）が1291票を得て新村長に当選されました。

また議員選挙（補欠選挙）では1799票を得て吉田あきゆき氏（48）が当選となりました。

当選されたお二方には、村民の付託を胸に、より良い村づくりのためにご尽力いただきたく思います。

▼阿智村視察研修

7月8日、長野県阿智村から村長・議員の皆さまが視察に來られました。

長野県阿智村は人口6千人ほど。長野県でもほぼ最南端に位置しています。

有名なのは何と言っても昼神温泉。今から50年ほど前、トンネル掘削工事の際に偶然発見されたとのこと。

また近年では環境省から「日本の星空」に認定されるなど、観光施策に非常に力を入れておられる村です。

本村と共通する課題も多く、視察された後には合併・子育て支援・公共交通などについて意見交換させていただきまして、村議会にとっても大変有意義な時間となりました。



阿智村議会議員と記念撮影

議会を傍聴しませんか



次回定例会の予定

9月5日(木)から9月20日(金)です。	
9月5日(木)	本会議（一般質問） 午前10時
9月6日(金)	文教建設常任委員会 午前10時
9月10日(火)	総務民生常任委員会 午前10時
9月12日(木)	決算特別委員会 午前10時
9月20日(金)	本会議 午前10時

上記日程は、状況により変更になる場合があります。

尚、一般質問は、初日に行います。

傍聴される場合は、議会事務局までご確認ください。

1階フロアの設置モニターにより議会の様子を見ることができます。

議会事務局 TEL 0721-26-7168
議場・議会事務局は、千早赤阪村役場庁舎3階

雑感

梅雨に入り、毎日ジメジメした日が続く、気分的にもすっきりしない日は天候にあらがうことなくミシンに向かうことにしている。休みの日であれば簡単な服の1着は出来上がる。自分の服は、お金をかけず殆どリメイクで間に合わせている。もう一つの楽しみはプランター菜園である。野菜用の大きめのプランターに5、6種類の野菜を栽培している。ささやかな楽しみだが出来た時は、この上なく嬉しいし収穫して直ぐいただくのは新鮮で美味しいものだ。

しかし国に目を向けると食料自給率37パーセント（令和4年度）37・64％となり危機的状況である。地球温暖化で自分の国で精一杯になると、他国への輸出どころではなくなる。たちまち、日本は食糧難になる。そうなる前に政府は一日も早く食料自給率を上げる取り組みに着手しなくてはならないと思う。

徳丸初美

広報編集委員会

委員長	服部幸令	副委員長	田村 陽
委員	井上浩一	委員	徳丸初美
議長	千福清英		

議会だより「ちはやあかさか」

2024年（令和6年）8月1日発行

〒585-8501 大阪府南河内郡千早赤阪村大字水分180

TEL 0721-00081 FAX 0721-18800

千早赤阪村ホームページ <http://www.vil.chiyakasaka.osaka.jp/>